

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年03月28日

東京都木材産業健康保険組合

# STEP 1-1 基本情報

組合コード	23927
組合名称	東京都木材産業健康保険組合
形態	総合
業種	飲食料品以外の小売業

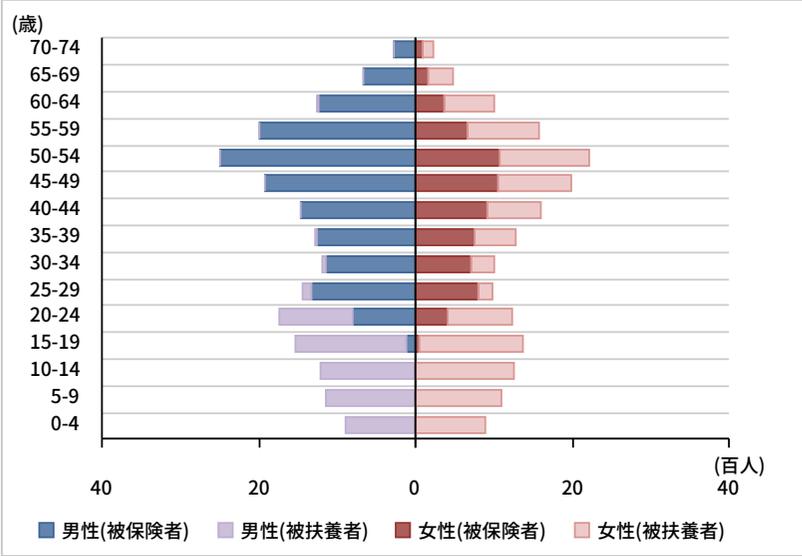
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	21,650名 男性67.89% (平均年齢45.81歳) * 女性32.11% (平均年齢43.02歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	38,121名	-名	-名
適用事業所数	768カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	1,200カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	91% <sub>00</sub>	-% <sub>00</sub>	-% <sub>00</sub>

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	1	1	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	15,316 / 19,237 = 79.6 %	
	被保険者	12,858 / 13,971 = 92.0 %	
	被扶養者	2,458 / 5,266 = 46.7 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	456 / 2,755 = 16.6 %	
	被保険者	443 / 2,200 = 20.1 %	
	被扶養者	13 / 555 = 2.3 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	61,510	2,841	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	13,500	624	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	20,910	966	-	-	-	-
	疾病予防費	489,440	22,607	-	-	-	-
	体育奨励費	4,000	185	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	3,100	143	-	-	-	-
	小計 …a	592,460	27,365	0	-	0	-
経常支出合計 …b	13,027,409	601,728	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.55		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	117人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	811人	25～29	1,337人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,151人	35～39	1,248人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,472人	45～49	1,930人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2,486人	55～59	1,980人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,244人	65～69	666人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	285人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	37人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	411人	25～29	789人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	701人	35～39	760人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	909人	45～49	1,054人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,081人	55～59	669人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	369人	65～69	156人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	87人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	897人	5～9	1,147人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,213人	15～19	1,420人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	940人	25～29	107人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	40人	35～39	20人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	9人	45～49	6人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	7人	55～59	6人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	13人	65～69	11人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	8人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	892人	5～9	1,096人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,250人	15～19	1,332人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	834人	25～29	194人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	286人	35～39	523人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	692人	45～49	945人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,137人	55～59	919人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	642人	65～69	316人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	147人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

40歳代から50歳代の加入者が多く生活習慣病におけるリスクが高い  
 加入事業所の拠点数が多く加入者が全国に点在している  
 被保険者は男性が約7割をしめており、平均年齢は45歳  
 当健保には医療専門職がない

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

#### 事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	ホームページ
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	後発医薬品差額通知
疾病予防	重症化予防対策
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人科生活習慣病健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	健康ハイキング（春季）
体育奨励	健康ハイキング（秋季）
予算措置なし	家庭常備薬の斡旋
予算措置なし	スポーツクラブ利用割引
事業主の取組	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,5	機関誌発行	【目的】 情報発信、健康意識の醸成、制度や医療保険にかかる情報提供 【概要】 健保組合の状況、健康情報等の発信並びに公示	全て	男女	16～74	加入者全員	10,120	年2回発行 事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等。	-	-	-
	2,5	ホームページ	【目的】 健保の仕組み、給付、適用、保健事業等の情報提供 【概要】 健保組合の各事業の紹介、給付・適用等手続きや申請方法を掲載	-	-	-	-	800	健保の仕組み、法改正、保険給付、保健事業等随時更新	随時更新し、法改正や事業の変更に即応している	組合員のみが閲覧できる専用ページ等が現状はないため、情報提供の範囲に限られる。	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者と予備軍の減少 【概要】 契約医療機関及び東振協等で実施	全て	男女	40～74	加入者全員	61,510	【実施状況】 対象者数 18,850人 受診者数 15,316人 受診率 81.25% 【時期】 通年	・医療機関の追加契約の促進・全国で受診可能な健診機関と連携し受診する機会を増やした ・特定健診部分の費用補助を行った	・加入者及び事業主に対して健診の重要性の理解を求める広報を行う必要がある ・被扶養者の受診率向上を図る必要がある	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者と予備軍の減少 【概要】 業務委託先・契約医療機関・東振協等で実施	全て	男女	40～74	基準該当者	13,500	対象者数 2,730名 実施者数 521名 実施率 19.1%	被保険者は対象者通知を事業所経由にて案内を送付し、事業所担当者にて取りまもていただき実施した 被扶養者については、東振協また契約医療機関を使用	総合健保においては、事業所の協力が無いと実施の向上は難しい	1
保健指導宣伝	8	医療費通知	【目的】 被保険者・被扶養者の医療費確認 【概要】 事業主を経由して被保険者に通知	全て	男女	0～74	加入者全員	7,200	年2回通知（8月、2月）	自己負担の把握の他、総医療費を意識してもらうことによる医療費の適正化	通知時期の変更（医療費控除の対応）	3
	2,7	後発医薬品差額通知	【目的】 ジェネリック医薬品利用促進で薬剤費の削減 【概要】 現在処方されている	全て	男女	0～74	基準該当者	1,000	年1回通知 レセプトから対象者を抽出	差額を知ることによって医療費の削減につながることを認識してもらうことができた	切り替え率が毎年低下傾向 同一人物に何度通知しても切り替えをしない方はしない	3
疾病予防	4	重症化予防対策	【目的】 早期受診による医療費の抑制 【概要】 健診データとレセプトの突合により対象者を抽出し早期受診により悪化を抑制する	全て	男女	40～74	基準該当者	500	令和6年度実施に向け調整中	-	-	1
	3	定期健康診断	【目的】 疾病の早期発見・予防 【概要】 費用に一部補助	全て	男女	15～74	被保険者、任意継続者	3,840	受診者数 3,595名	費用の一部補助	安衛法に基づく項目が満たされていない	3
	3	生活習慣病健診	【目的】 人間ドック対象年齢より若年者を対象にした健診 【概要】 直接契約医療機関及び東振協契約医療機関を活用し実施	全て	男女	30～74	加入者全員	76,500	受診者数5,702名	全国にある契約医療機関にて受診可能 東振協巡回健診による実施	被扶養者の受診率が低い（横ばい）	3
	3	人間ドック	【目的】 疾病の早期発見と予防 【概要】 主に契約医療機関にて実施	全て	男女	35～74	加入者全員	360,000	年齢構成の上昇と健康意識の向上により受診者が増加	補助金額の上限額が多い	全国規模で多くの健診機関と提携している取りまとめ機関（東振協など）と契約して受診者増に繋げる必要がある。	3
	3	婦人科生活習慣病健診	【目的】 女性の生活習慣病を予防 【概要】 子宮がん・乳がん検診を生活習慣病健診と併せて補助	全て	女性	30～74	加入者全員	20,600	30歳以上の女性の被保険者・被扶養者を対象に実施 受診者数 3,386人	直接契約、東振協契約会場集合形式にて受診可能であるため受診方法の選択肢がある	被扶養者の受診率が伸びない	3
	3	インフルエンザ予防接種補助	【目的】 インフルエンザの罹患及び重症化予防 【概要】 予防接種の費用の一部補助	全て	男女	0～74	加入者全員	15,000	被保険者・被扶養者 1人あたり1,500円を上限に補助 13歳未満は2回補助あり	東振協契約医療機関の施設内接種および出張接種等を活用	契約医療機関外にて接種した場合の、請求書による償還払いは確認作業が多く事務手続きが手間	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
体育奨励	8	健康ハイキング(春季)	【目的】健康維持・増進 【概要】家族で参加できる健康事業	全て	男女	0～74	加入者全員	1,000	4月から7月にかけて木更津潮干狩りを実施 申込者へ入浜引換券を配布し、実施期間に無料で参加できる	実施日を定めず実施期間を設けることで参加しやすい体制を整えた	参加するかどうか未定だが、とりあえず申込する方がいると思われ、申込者は多いが参加人数が伴わない	4
	8	健康ハイキング(秋季)	【目的】健康維持・増進 【概要】家族で参加できる健康事業	全て	男女	0～74	加入者全員	3,000	東京ディズニーランド・シーにてコーポレートプログラム利用券の配布 1人 1,500の補助	利用券の使用期間を長くし申込者全員にいきわたる様に利用券の発行枚数を増やした	毎年パークチケットの料金が引き上げとなり、それに対応した補助額の引き上げの検討が必要	4
予算措置なし	2,8	家庭常備薬の斡旋	【目的】軽度疾患の初期治療と健康維持 【概要】医薬品取扱い事業者介し常備薬の斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	0	年2回春季・秋期に実施 事業所あてに案内チラシ送付	郵送、FAXの他、WEBを使用した申込が可能となり利便性が向上した	加入者のどこまで周知が行き届いているか不明	3
	8	スポーツクラブ利用割引	【目的】生活習慣病対策、体力向上 【概要】スポーツジムの優待利用	全て	男女	15～74	加入者全員	0	㈱ルネサンスと契約 優待価格にて利用可能	全国展開のため多くの利用者が見込まれる	利用者の高止まり 利用者が伸びない	3

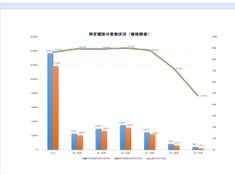
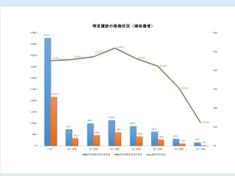
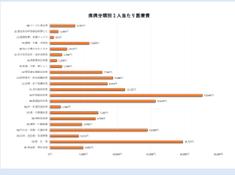
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

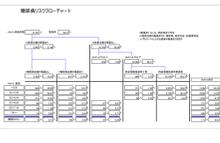
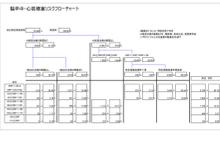
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

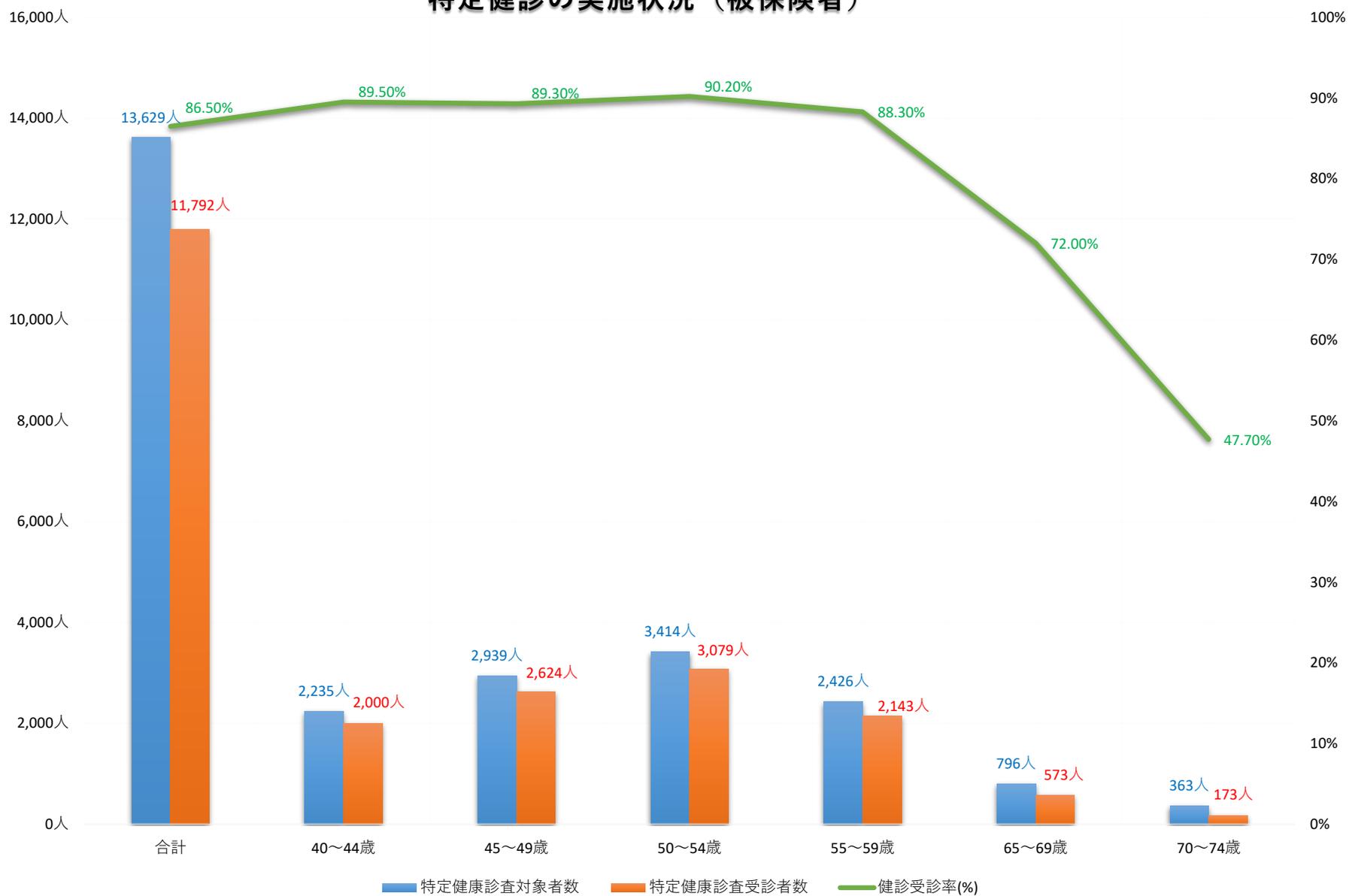
# STEP 1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

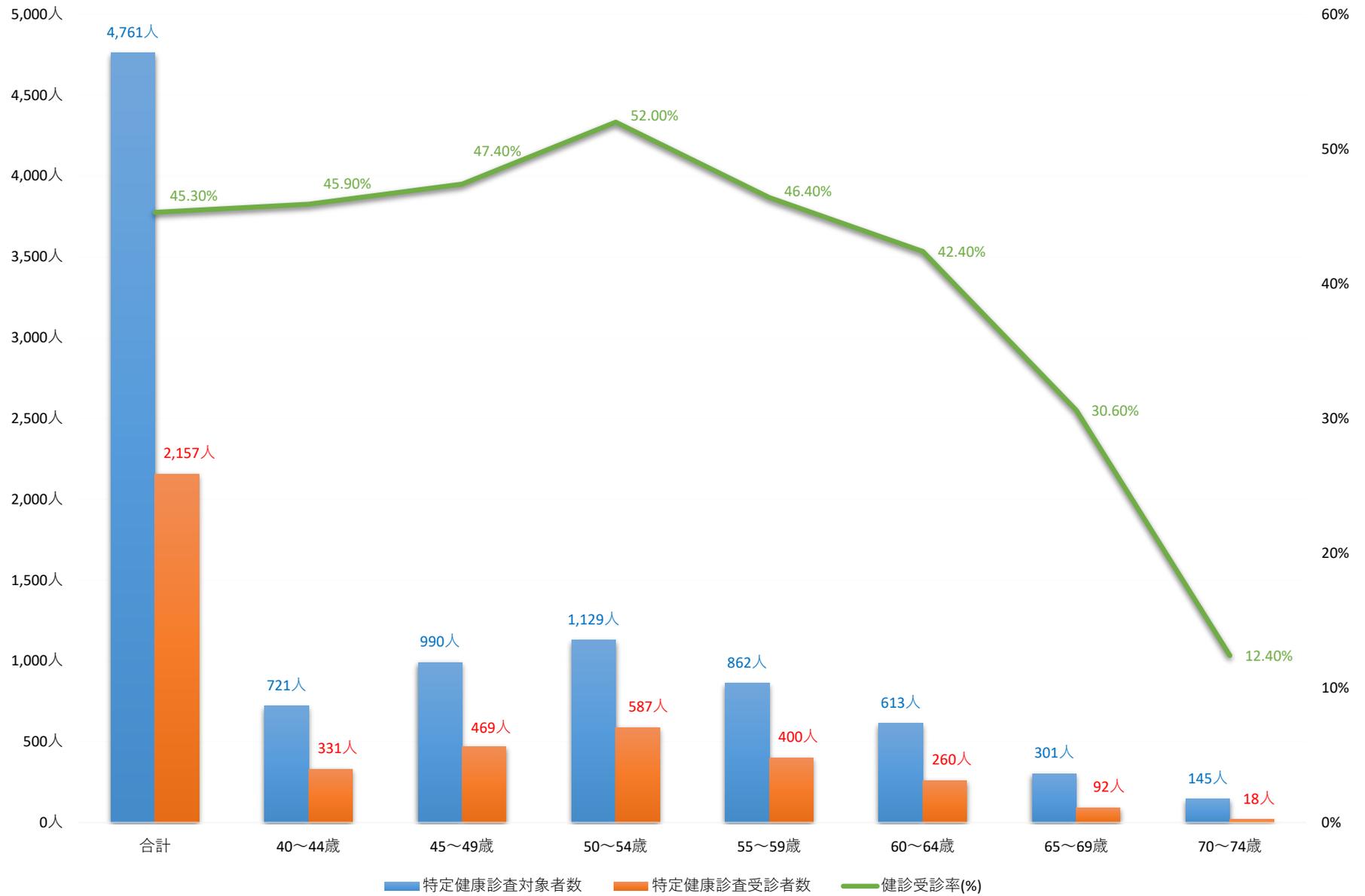
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		被保険者 特定健診の実施状況	特定健診分析	-
イ		被扶養者 特定健診の実施状況	特定健診分析	-
ウ		疾病分類別 1人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
エ		生活習慣関連疾患統計分析	医療費・患者数分析	-
オ		メタボ要因分析（男性）	健康リスク分析	-
カ		メタボ要因分析（女性）	健康リスク分析	-

キ		糖尿病リスクフローチャート	健康リスク分析	-
ク		脳卒中・心筋梗塞リスクチャート	健康リスク分析	-
ケ		後発医薬品使用率	後発医薬品分析	-

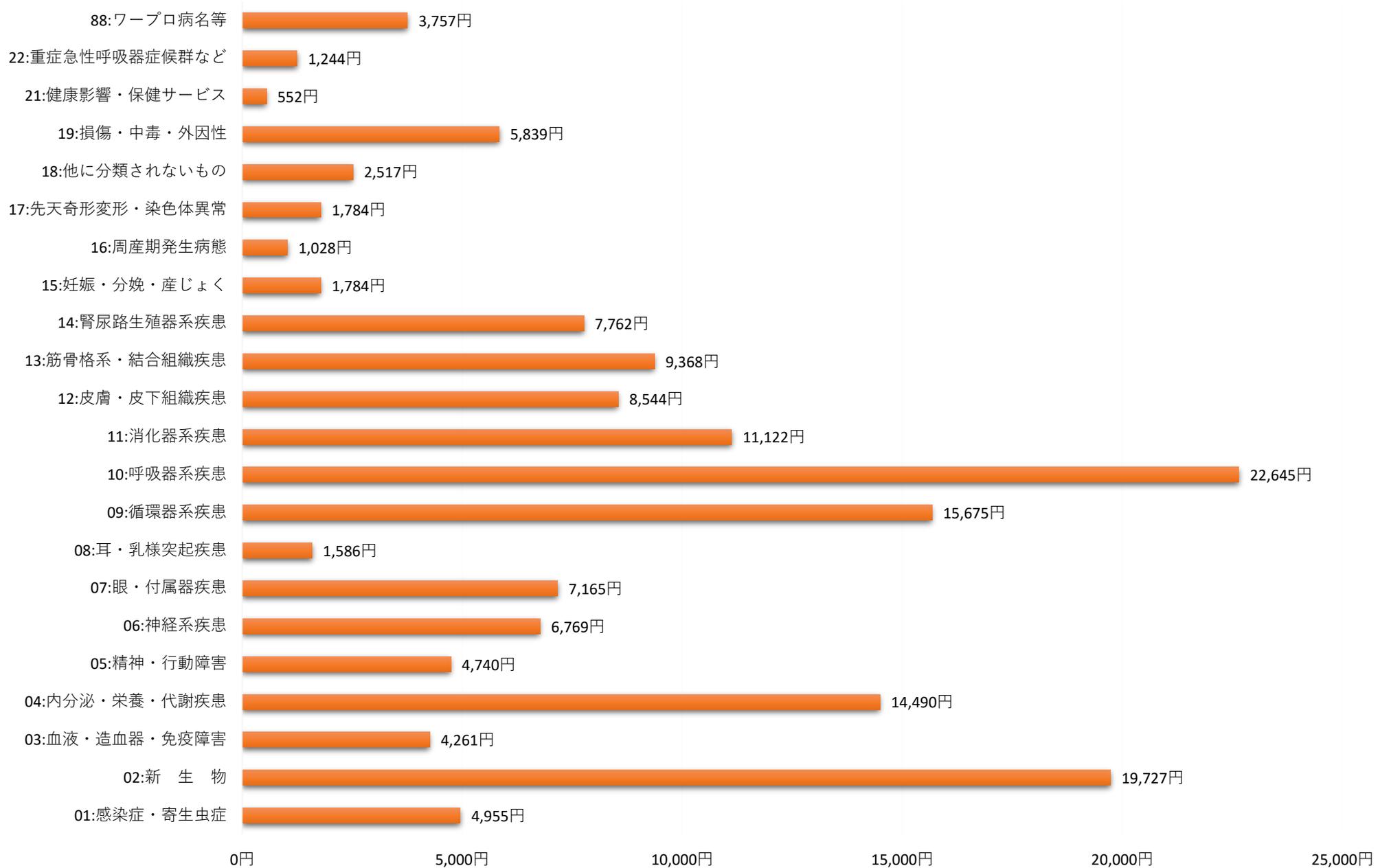
## 特定健診の実施状況（被保険者）



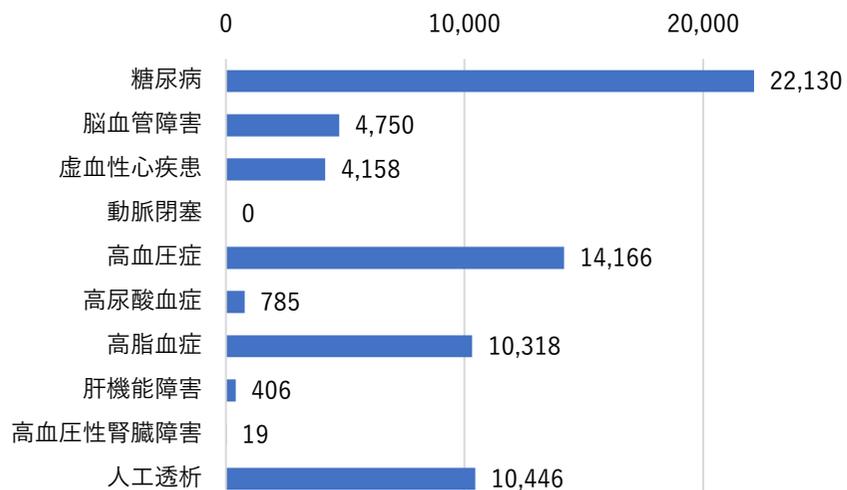
## 特定健診の実施状況（被扶養者）



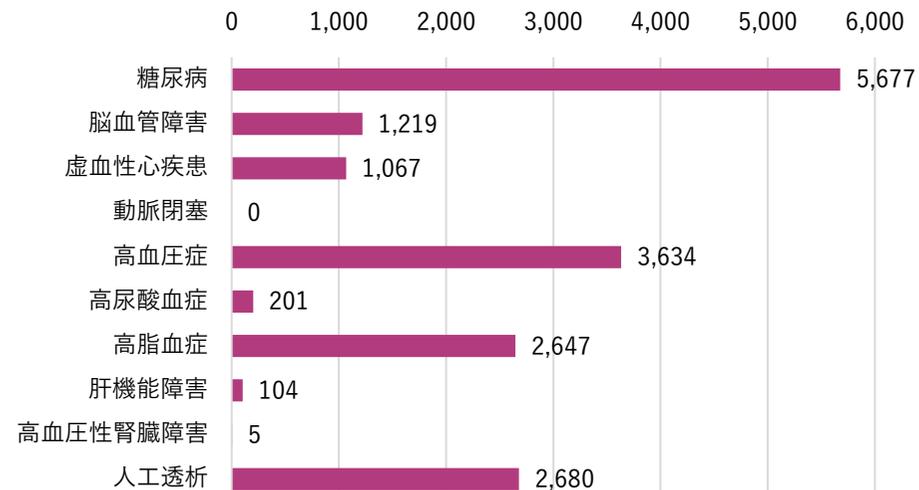
## 疾病分類別 1 人当たり医療費



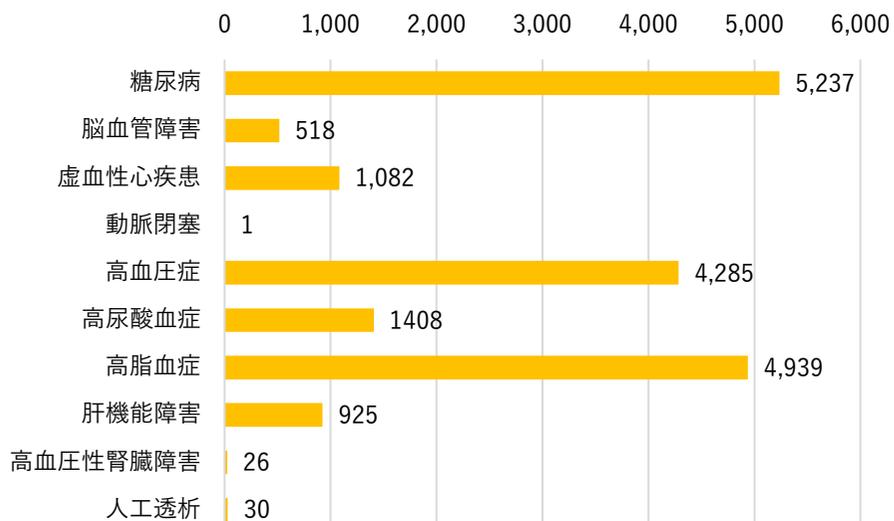
生活習慣関連疾患別 医療費 (万円)



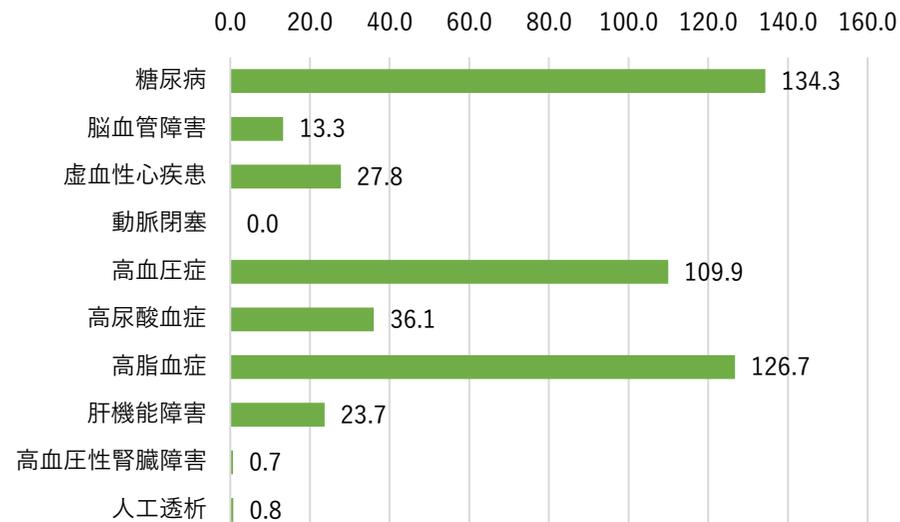
加入者 1 人当たり医療費 (円)

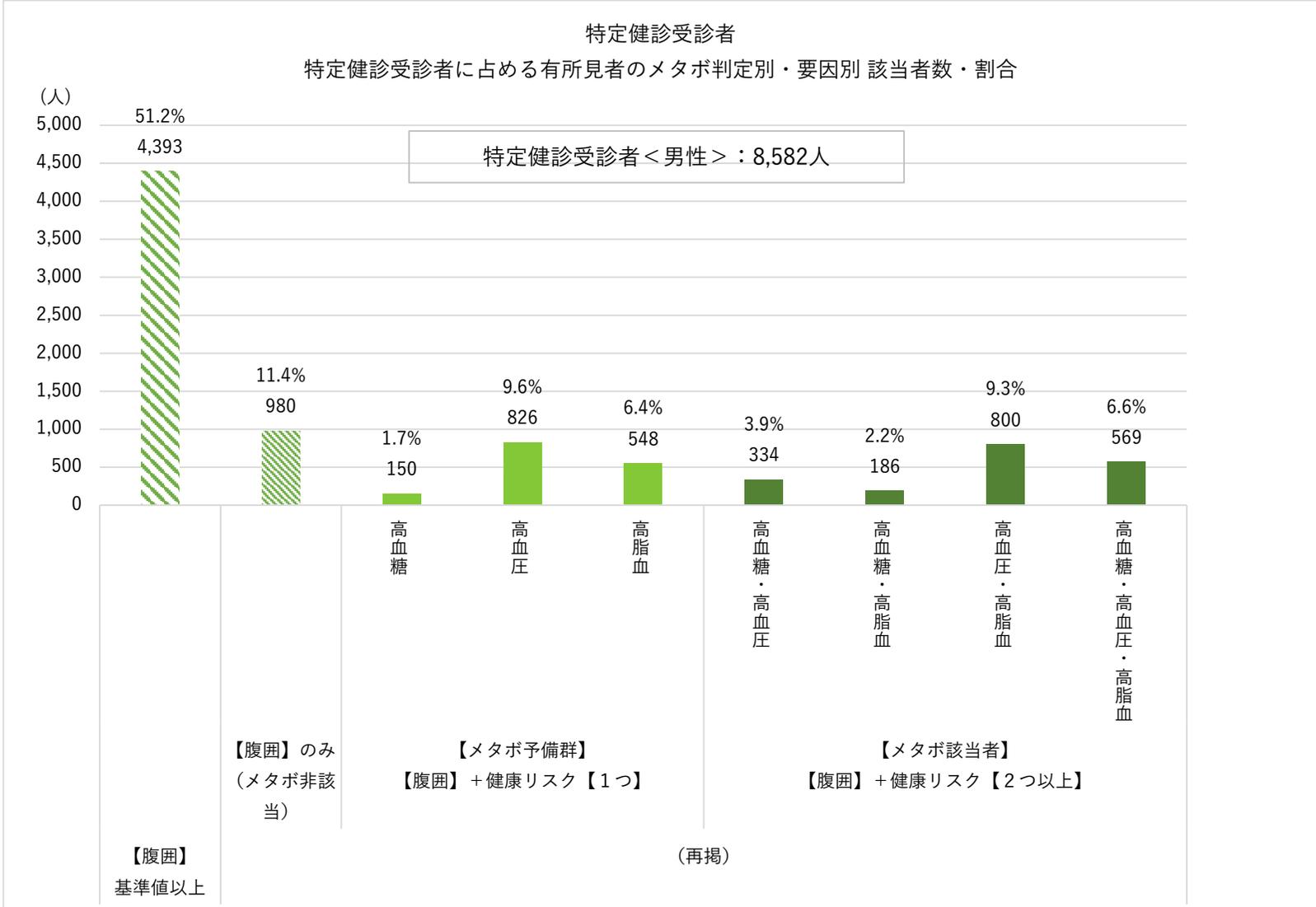


生活習慣関連疾患別 受診者数 (人)



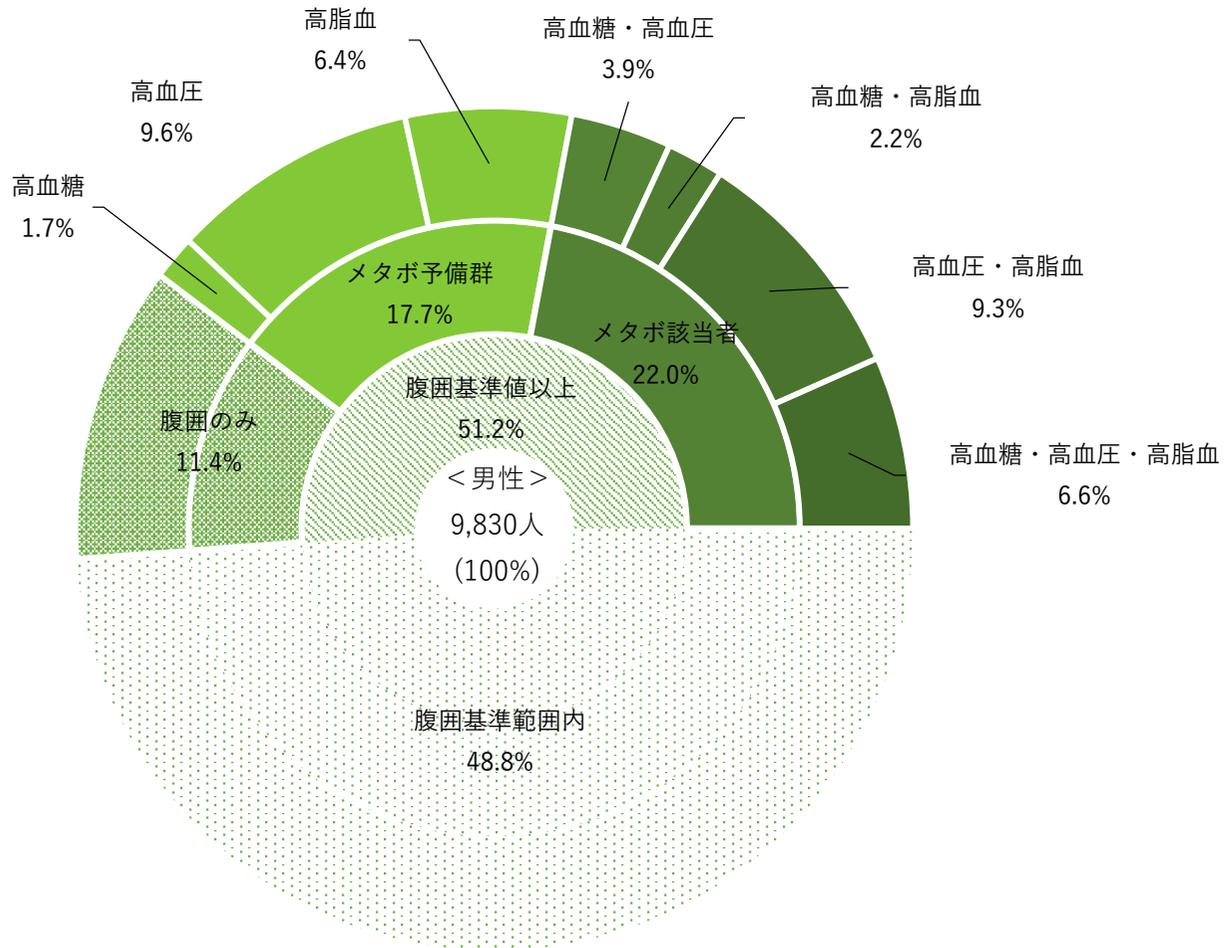
加入者 1,000 人当たり受診者数 (人)



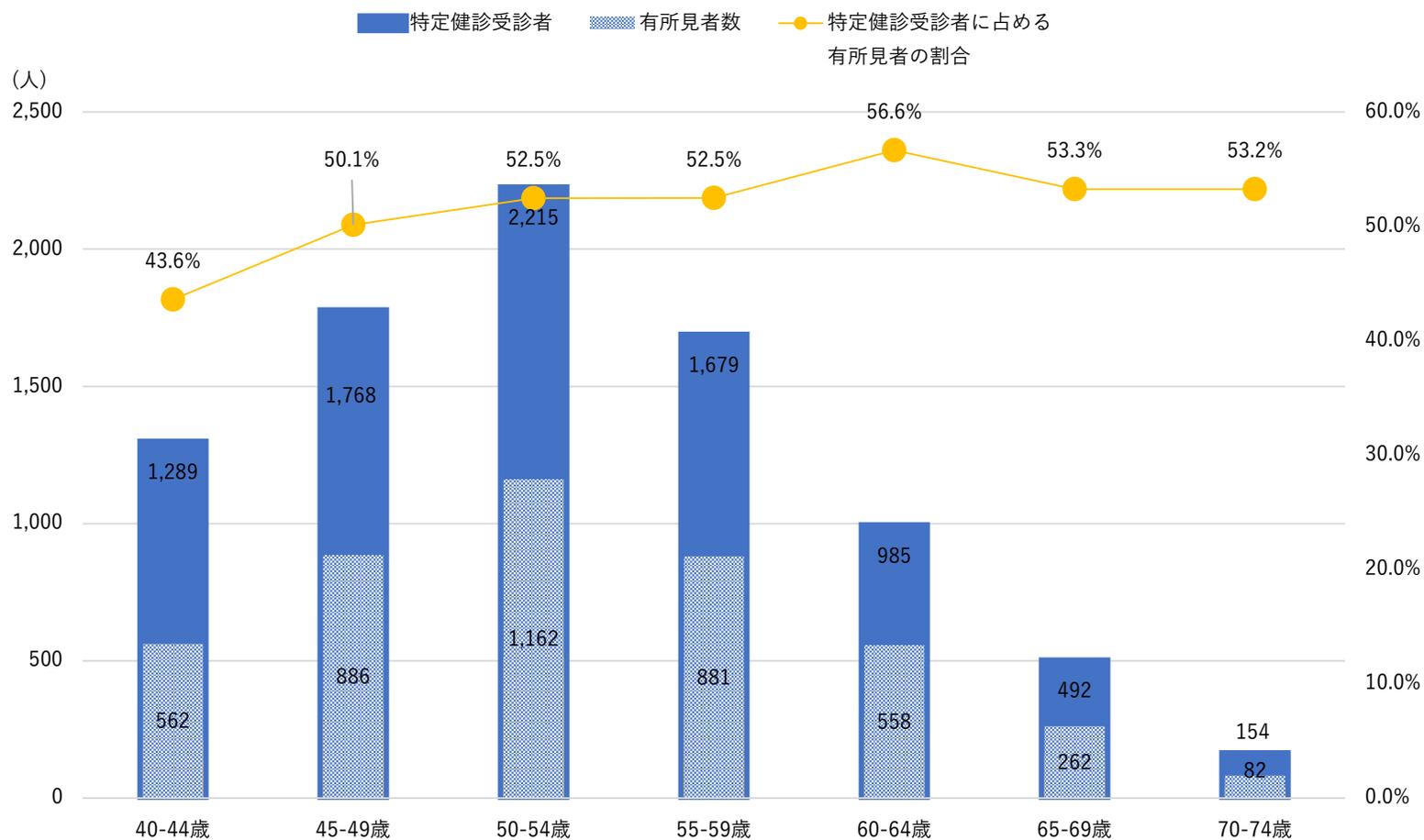


特定健診受診者

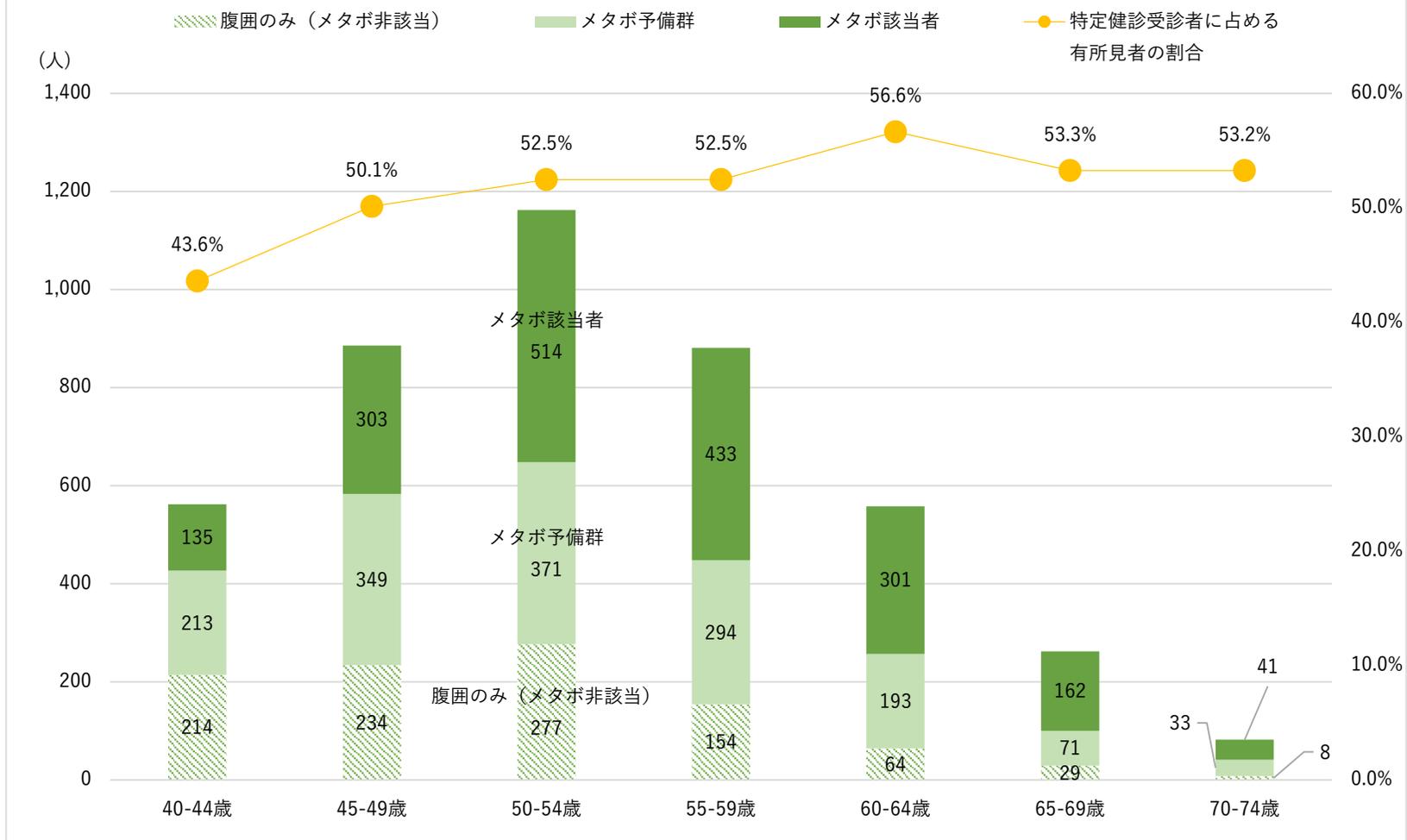
特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別・要因別 該当者割合(%)

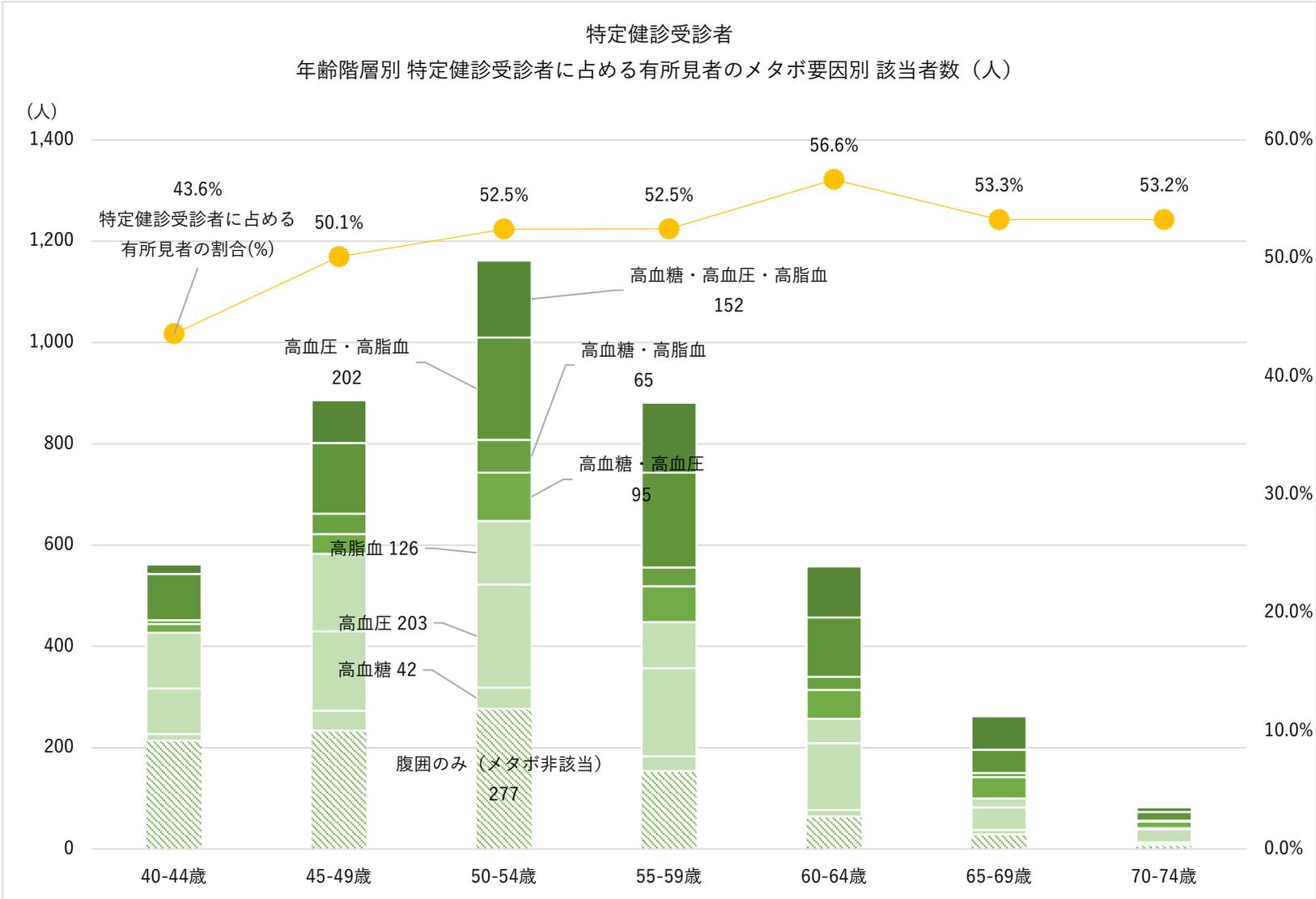


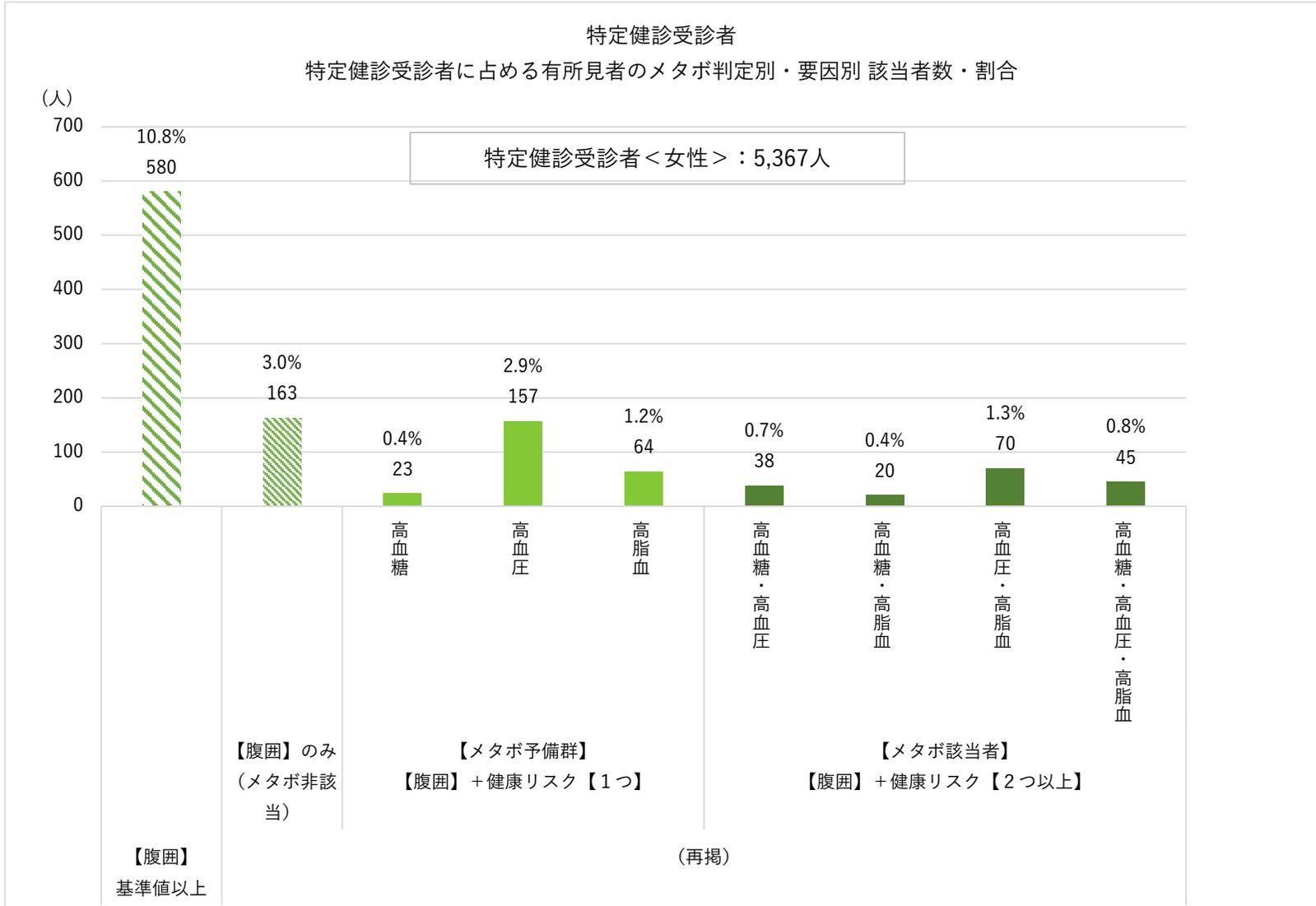
特定健診受診者  
 年齢階層別 特定健診受診率（人）及び健診受診者に占める有所見者の割合（%）



特定健診受診者  
年齢階層別 特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別 該当者数 (人)

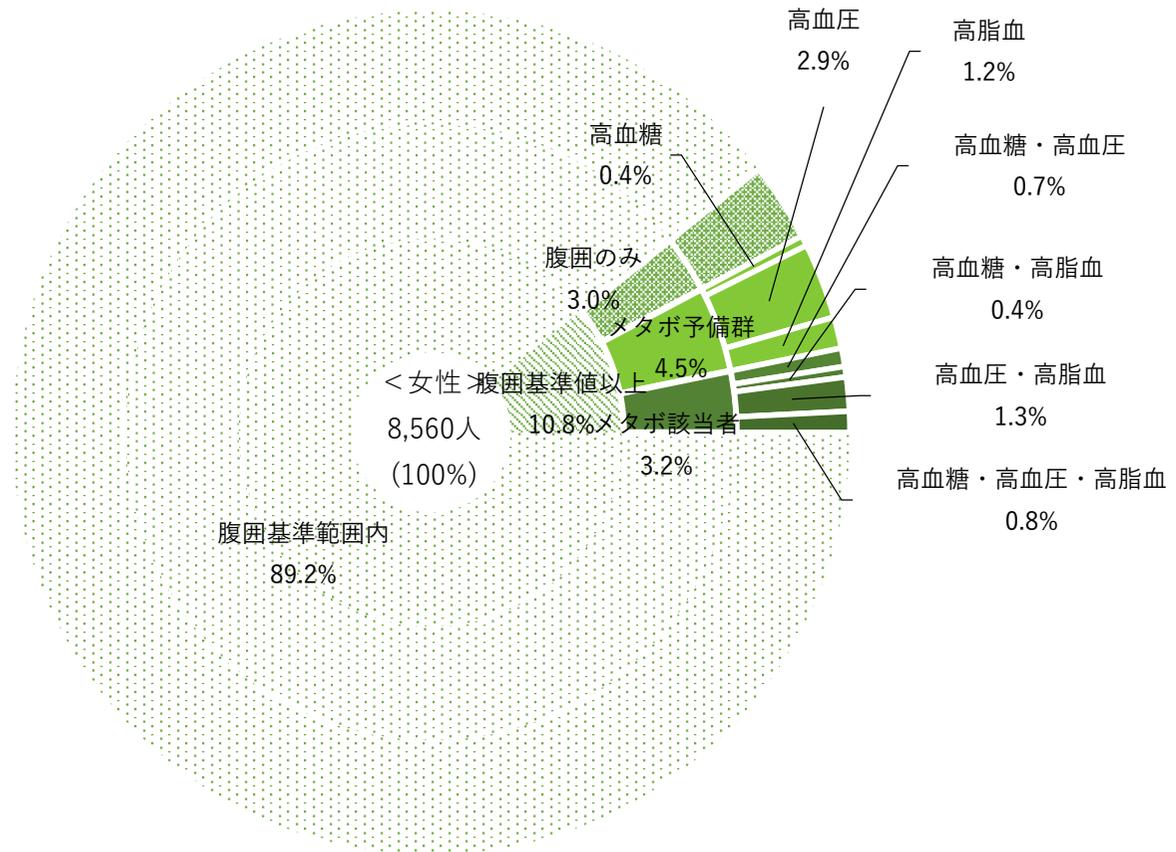




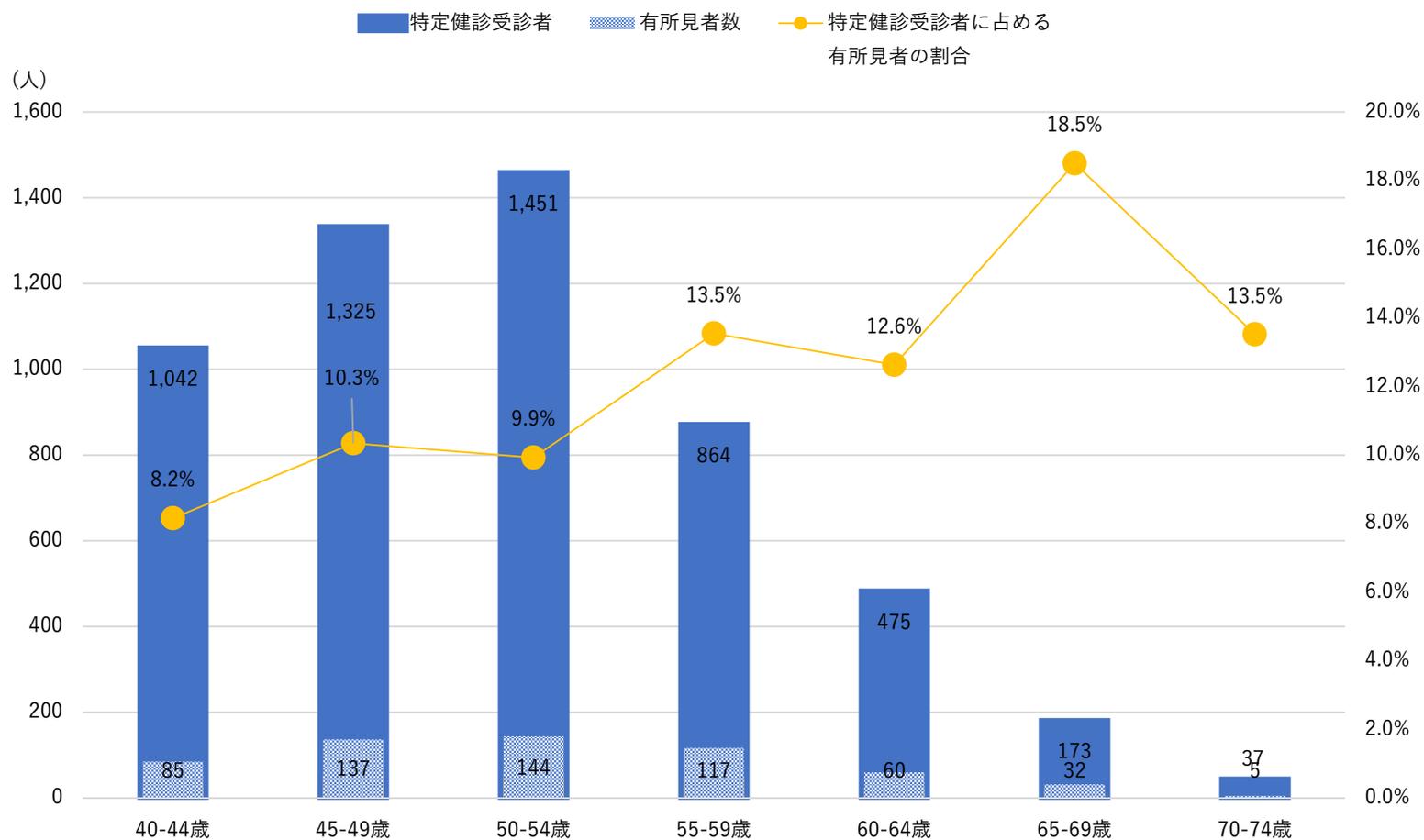


特定健診受診者

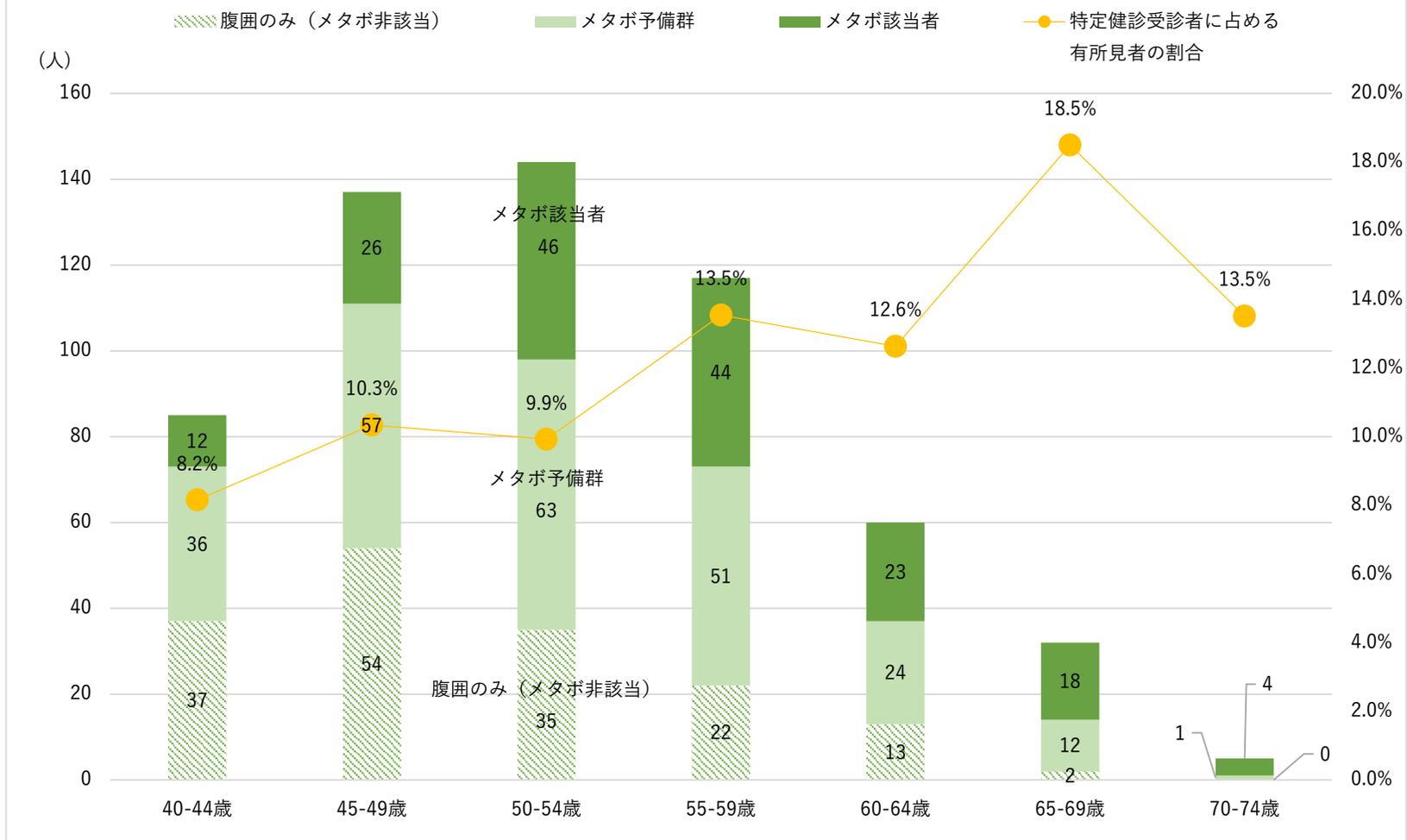
特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別・要因別 該当者割合(%)

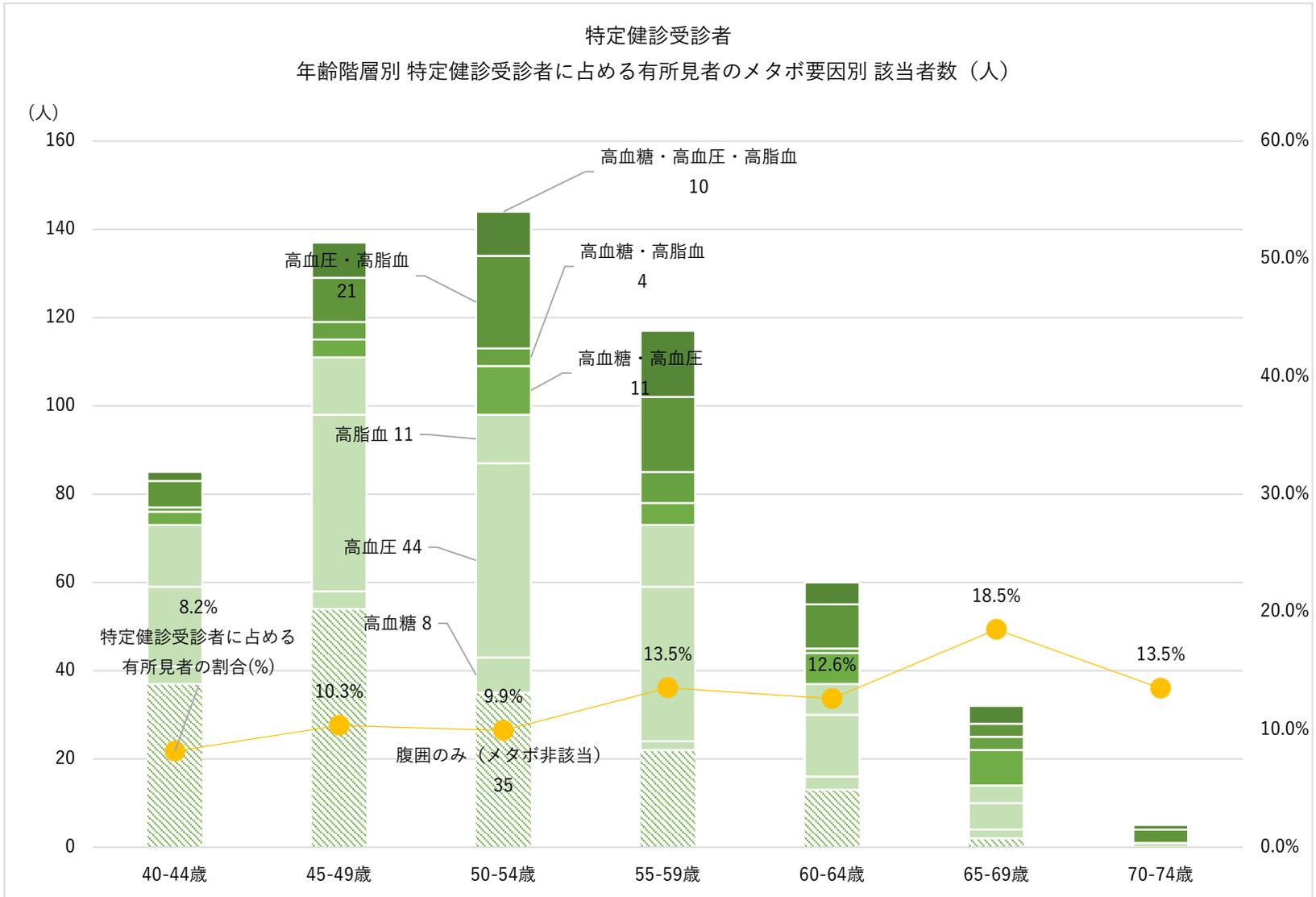


特定健診受診者  
 年齢階層別 特定健診受診率（人）及び健診受診者に占める有所見者の割合（%）



特定健診受診者  
年齢階層別 特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別 該当者数 (人)





# 糖尿病リスクフローチャート

HbA1c実施者数 **13,707**人 実施率 **98.27**%

\*服薬あり/なしは、問診回答で判定  
 \*3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症  
 いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す

\*3疾患治療の服薬あり  
**2,942**人 **21.46**%

\*3疾患治療の服薬なし  
**10,765**人 **78.54**%

HbA1c6.5%以上  
**203**人 **1.89**%

HbA1c6.4%以下  
**10,562**人 **98.11**%

\*糖尿病治療の服薬なし  
**2,305**人 **78.35**%

\*糖尿病治療の服薬あり  
**637**人 **21.65**%

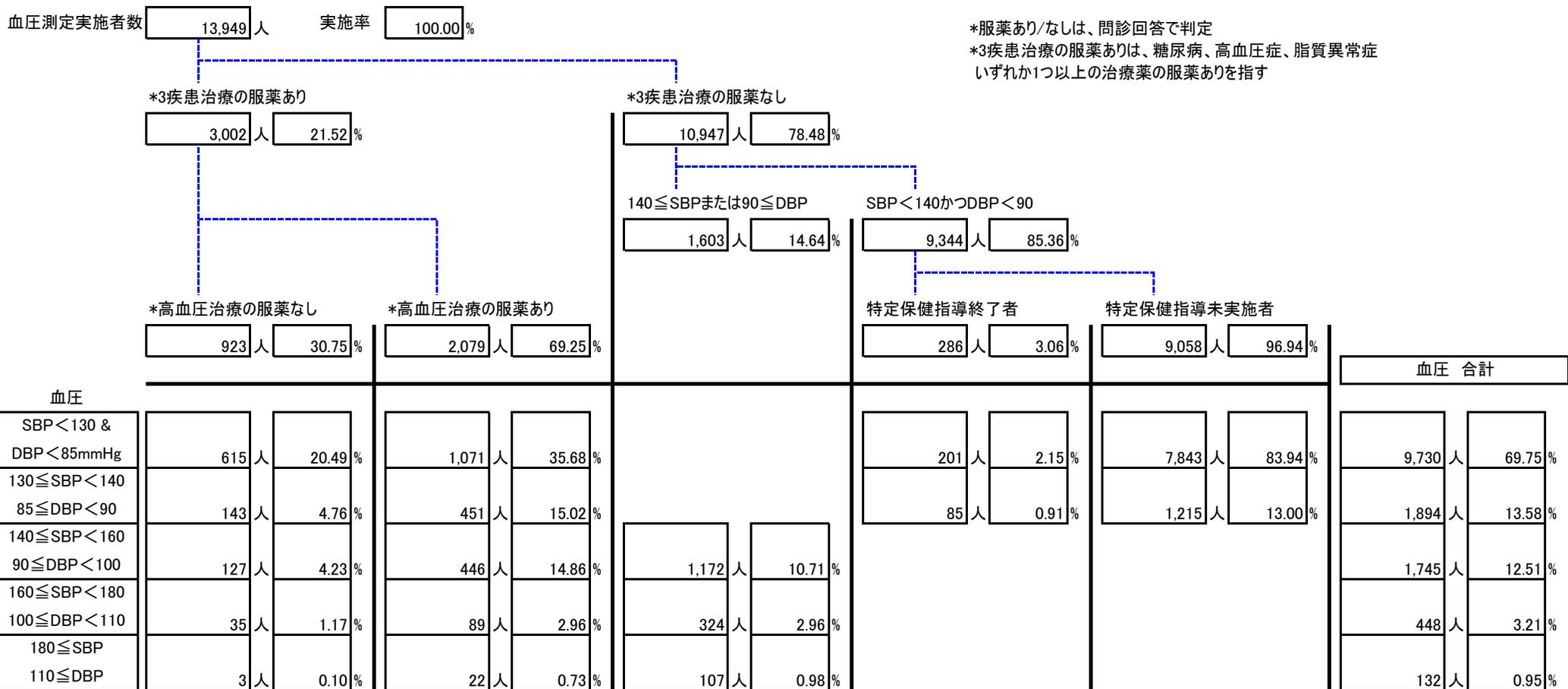
特定保健指導終了者  
**394**人 **3.73**%

特定保健指導未実施者  
**10,168**人 **96.27**%

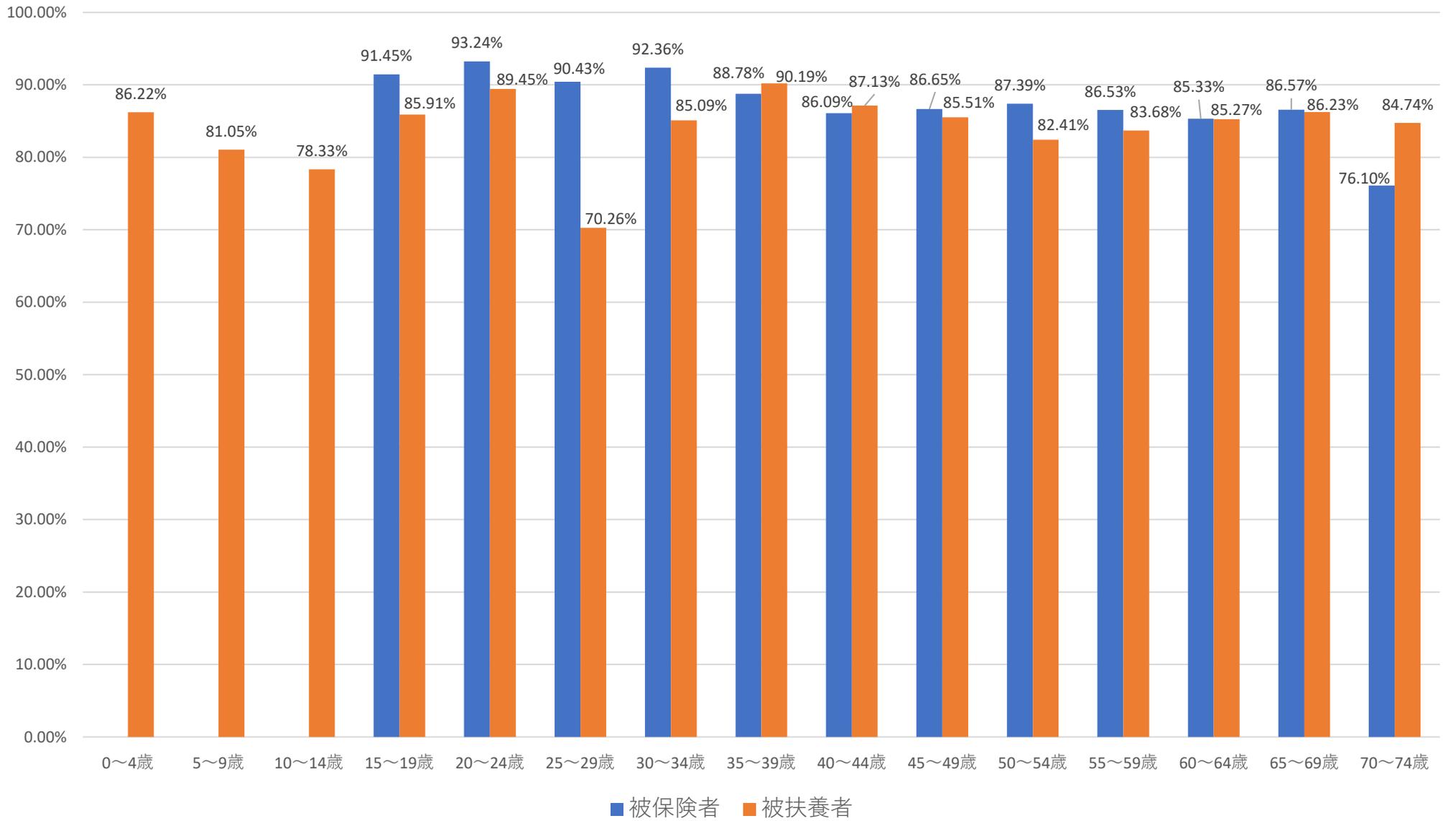
HbA1c合計

HbA1c 数値	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	HbA1c合計	人数	割合
～5.5%	943	32.05%	11	0.37%			171	1.62%		7,448	54.34%
5.6～5.9%	864	29.37%	43	1.46%			165	1.56%		4,260	31.08%
6.0～6.4%	371	12.61%	119	4.04%			58	0.55%		1,205	8.79%
6.5～6.8%	68	2.31%	122	4.15%	87	0.81%				277	2.02%
6.9～7.3%	40	1.36%	151	5.13%	40	0.37%				231	1.69%
7.4%～	19	0.65%	191	6.49%	76	0.71%				286	2.09%
[再掲]8.4%～	5	0.17%	69	2.35%	37	0.34%				111	0.81%

# 脳卒中・心筋梗塞リスクフローチャート



## 後発医薬品使用率



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ	被扶養者の特定健診の受診率が30%未満と低い	➔	事業所又被保険者の協力を得手、被扶養者の健診受診のアプローチが可能か検討	✓
2	ウ, エ	一人当たりの医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い	➔	早期発見できる部位のがんが多くを占めているため、定期的ながん検診の受診の重要性を随時発信する	✓
3	キ, ク	受診勧奨推奨基準値以上の未治療者が多く存在する	➔	基準値以上の対象者に受診勧奨通知を送付し早急に受診いただく	✓
4	ケ	ジェネリック医薬品の使用割合と薬剤費割合は少しづつではあるもの上昇している。本人家族で分けてみても、それぞれ上昇している。	➔	ジェネリック医薬品の通知事業については現行通り	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる拠点数は約1,200箇所と全国に工場や営業所が点在している。</li> <li>被保険者の男女割合は、男性が約70%近くと大半を占めている。</li> <li>被保険者の年齢構成は、50歳から54歳が最も多く、比較的年齢は高い</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社・支店・工場などが全国に点在する当健保組合では、個々の加入者に直接的に働きかけることは、効果・効率性から有効ではないため、事業主との協働が必要。</li> </ul>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の受診率は被保険者の受診率は86.5%であるが、被扶養者の受診率は45.3%と低い</li> <li>保健指導の該当者は増加傾向にあるものの、実施率は男女とも低位。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診受診及び特定保健指導の実施は、事業主の理解が必要不可欠であり、引き続き協力を依頼する。</li> <li>実施率向上には引き続き利便性の向上を図り、事業主との協働（コラボヘルス）による受診促進や加入者への意識付けが必要である。</li> </ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

被保険者、被扶養者の健康維持・増進を図るとともに、生活習慣病の重症化予防を図り、医療費を低減させることを目的とする。

### 事業全体の目標

- 健康管理、健康意識等の啓発を図り、各種健診の受診率を向上させる。
- 生活習慣病のハイリスク者に対し、適切な保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者を減少させる。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	ホームページ

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	後発医薬品差額通知
保健指導宣伝	重症化予防対策
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人生活習慣病健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	健康ハイキング（春季）
体育奨励	健康ハイニング（秋季）
予算措置なし	家庭用常備薬の斡旋
予算措置なし	スポーツクラブ利用割引

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2,5	既存	機関誌発行	全て	男性	16～74	加入者全員	1	ス	事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等	シ	-	10,120	-	-	-	-	健保組合の状況（事業報告・決算報告）等発信	該当なし	
													事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等「健保ニュース」を年2回発行	事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等「健保ニュース」を年2回発行	事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等「健保ニュース」を年2回発行	事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等「健保ニュース」を年2回発行	事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等「健保ニュース」を年2回発行			事業計画・事業報告、保険事業の取り組みと案内等「健保ニュース」を年2回発行
													健保ニュースの年間発行(【実績値】6回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-							効果測定不能(アウトカムは設定されていません)
保健指導宣伝	8	既存	ホームページ	全て	男性	0～74	加入者全員	1	ス	健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約医療機関一覧表等の掲載	シ	随時更新	800	-	-	-	-	リアルタイムな組合情報の発信	該当なし	
													・健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約一覧表等の発信する ・各種申請書のダウンロード利用を促進する。	・健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約一覧表等の発信する ・各種申請書のダウンロード利用を促進する。	・健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約一覧表等の発信する ・各種申請書のダウンロード利用を促進する。	・健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約一覧表等の発信する ・各種申請書のダウンロード利用を促進する。	・健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約一覧表等の発信する ・各種申請書のダウンロード利用を促進する。			・健保のしくみ、法改正、保険給付、健康増進事業の内容、健診指定契約一覧表等の発信する ・各種申請書のダウンロード利用を促進する。
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査	全て	男性	40～74	加入者全員	1	イ,ク,コ	東振協及び直接契約医療機関を活用し実施する	ア	健診事業案内を通知契約先での健診費用の全額補助	61,510	-	-	-	-	健診実施後の効果的な情報提供や結果分析により、健診に関する関心・意識を高め、健診受診率向上と健康増進を目指す。	被扶養者の特定健診の受診率が30%未満と低い	
													生活習慣病健診ならび人間ドックに併せて実施。	生活習慣病健診ならび人間ドックに併せて実施。	生活習慣病健診ならび人間ドックに併せて実施。	生活習慣病健診ならび人間ドックに併せて実施。	生活習慣病健診ならび人間ドックに併せて実施。			生活習慣病健診ならび人間ドックに併せて実施。
													特定健診実施率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：81% 令和7年度：82% 令和8年度：83% 令和9年度：84% 令和10年度：85% 令和11年度：86%)-							内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】16% 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：14% 令和8年度：13% 令和9年度：12% 令和10年度：11% 令和11年度：10%)-
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ケ,コ	-	カ	-	13,500	-	-	-	-	効果的な保健指導により重症化を防ぐとともに、特定保健指導の非該当者の増加を目指した健康改善率の向上を図る。	一人当たりの医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い	
													事業主と連携した特定保健指導の実施率の向上。	事業主と連携した特定保健指導の実施率の向上。	事業主と連携した特定保健指導の実施率の向上。	事業主と連携した特定保健指導の実施率の向上。	事業主と連携した特定保健指導の実施率の向上。			事業主と連携した特定保健指導の実施率の向上。
													特定保健指導実施率(【実績値】10% 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：25% 令和8年度：32% 令和9年度：40% 令和10年度：45% 令和11年度：45%)-							特定保健指導対象者割合(【実績値】15% 【目標値】令和6年度：14% 令和7年度：13% 令和8年度：12% 令和9年度：11% 令和10年度：10% 令和11年度：9%)-
保健指導宣伝	8	既存(法定)	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年2回配布 事業所宛	シ	-	7,200	-	-	-	-	総医療費の認識と不正請求等の抑制	該当なし	
													医療機関への受診情報のWEBによる閲覧可能な体制への準備	医療機関への受診情報のWEBによる閲覧可能な体制への準備	医療機関への受診情報のWEBによる閲覧可能な体制への準備	医療機関への受診情報のWEBによる閲覧可能な体制への準備	医療機関への受診情報のWEBによる閲覧可能な体制への準備			医療機関への受診情報のWEBによる閲覧可能な体制への準備
保健指導宣伝	7	既存(法定)	後発医薬品差額通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	1,000	-	-	-	-	ジェネリック医薬品への切り替えによる医療費の削減。	ジェネリック医薬品の使用割合と薬剤費割合は少しづつではあるもの上昇している。本人家族で分けてみても、それぞれ上昇している。	
													対象者全員に差額通知を配布。新規加入者へのジェネリック薬使用の啓蒙。ジェネリック薬への切替率および薬剤費の軽減額の把握、効果検証。	対象者全員に差額通知を配布。新規加入者へのジェネリック薬使用の啓蒙。ジェネリック薬への切替率および薬剤費の軽減額の把握、効果検証。	対象者全員に差額通知を配布。新規加入者へのジェネリック薬使用の啓蒙。ジェネリック薬への切替率および薬剤費の軽減額の把握、効果検証。	対象者全員に差額通知を配布。新規加入者へのジェネリック薬使用の啓蒙。ジェネリック薬への切替率および薬剤費の軽減額の把握、効果検証。	対象者全員に差額通知を配布。新規加入者へのジェネリック薬使用の啓蒙。ジェネリック薬への切替率および薬剤費の軽減額の把握、効果検証。			対象者全員に差額通知を配布。新規加入者へのジェネリック薬使用の啓蒙。ジェネリック薬への切替率および薬剤費の軽減額の把握、効果検証。
													通知対象者差額通知送付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-							通知後切り替え率(【実績値】26% 【目標値】令和6年度：27% 令和7年度：28% 令和8年度：29% 令和9年度：30% 令和10年度：32% 令和11年度：35%)-
保健指導宣伝	4	既存	重症化予防対策	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	-	シ	-	500	-	-	-	-	特定保健指導の対象から漏れた非肥満の生活習慣病ハイリスク者である医療機関未受診者に早期に受診勧奨を促し、重症化の進行を未然に防ぐ。	受診勧奨推奨基準値以上の未治療者が多く存在する	
													事業主と連携した医療機関への受診勧奨および健診結果の効果的な情報提供を実施。	事業主と連携した医療機関への受診勧奨および健診結果の効果的な情報提供を実施。	事業主と連携した医療機関への受診勧奨および健診結果の効果的な情報提供を実施。	事業主と連携した医療機関への受診勧奨および健診結果の効果的な情報提供を実施。	事業主と連携した医療機関への受診勧奨および健診結果の効果的な情報提供を実施。			事業主と連携した医療機関への受診勧奨および健診結果の効果的な情報提供を実施。
													受診勧奨対象者通知率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-							勧奨後の受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：3,232% 令和7年度：34% 令和8年度：36% 令和9年度：38% 令和10年度：40% 令和11年度：42%)-
												3,840	-	-	-	-	-			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
疾病予防	8	既存(法定)	定期健康診断	全て	男女	15～74	被保険者	2	ス	事業主と共同で実施	ア	-	-	-	-	-	-	-	該当なし	
	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	30～74	加入者全員	1	イ	-	カ	-	76,500	-	-	-	-	-	加入者の健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療に繋げる。	一人当たりの医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い 受診勧奨推奨基準値以上の未治療者が多く存在する
	健診受診率(【実績値】74% 【目標値】令和6年度：76% 令和7年度：78% 令和8年度：80% 令和9年度：82% 令和10年度：85% 令和11年度：90%)-												効果測定不能 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	加入者全員	1	イ	-	カ	-	360,000	-	-	-	-	-	加入者の健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療に繋げる	一人当たりの医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い
	健診受診率(【実績値】74% 【目標値】令和6年度：76% 令和7年度：78% 令和8年度：80% 令和9年度：82% 令和10年度：85% 令和11年度：90%)-												効果測定不能 (アウトカムは設定されていません)							
3	既存	婦人生活習慣病健診	全て	女性	30～74	加入者全員	1	イ,ウ	-	ウ,カ	-	20,600	-	-	-	-	-	加入者の健康状態の確認、婦人科疾患等の早期発見・早期治療に繋げる。	一人当たりの医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い	
健診受診率(【実績値】74% 【目標値】令和6年度：76% 令和7年度：78% 令和8年度：80% 令和9年度：82% 令和10年度：85% 令和11年度：90%)-												効果測定不能 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男性	0～74	加入者全員	1	サ	-	ウ,カ	-	15,000	-	-	-	-	-	加入者のインフルエンザの発症を予防するため、予防接種の費用の補助を行う。	該当なし	
接種補助金案内通知率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												通知後接種率(【実績値】27% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：33% 令和8年度：36% 令和9年度：39% 令和10年度：42% 令和11年度：45%)-								
体育奨励	8	既存	健康ハイキング(春季)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	開催期間中、木更津海岸にて潮干狩りを実施	シ	-	1,000	-	-	-	-	-	加入者の健康保持・増進やリフレッシュを促進する。	該当なし
	8	既存	健康ハイニング(秋季)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	ディズニーランド・シーのパークチケット購入の補助	シ	-	-	-	-	-	-	-	加入者の健康保持・増進やリフレッシュを促進する。	該当なし
予算措置なし	8	既存	家庭用常備薬の斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	0	-	-	-	-	-	加入者の健康管理、疾病予防対策を行う。	該当なし
	8	既存	スポーツクラブ利用割引	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	0	-	-	-	-	-	加入者の生活習慣の予防・改善と意識づくりと健康保持・増進やリフレッシュを促進する。	該当なし
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他